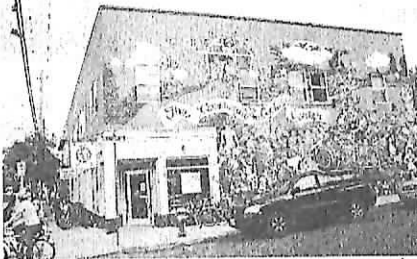


# 教 研 織

## 先端ライフスタイル生むポートランド

松本大地 / 商い創造研究所代表取締役



アルファベットストリートを象徴する外壁デザインの自転車ショップ

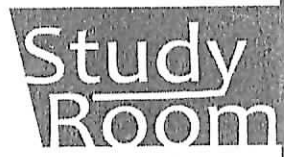
先月米国ポートランドを視察し、連なるショップがその地域なりの価値観を醸成し、街路のアイデンティティを確立している様子を目の当たりにした。ファッションビジネスに携わる側として、何か新しい着眼点の示唆を感じた。ポートランドの街を分析してみたい。

### 多様なストリート文化

日本の個人消費の閉塞感の根源にあるのは同質性の行き詰まり、ごとの百貨店やショッピングセンターに行っても同じような環境デザイン、商品、テナント構成。それも売れ筋ばかりの品揃えでは自分らしさを見つけれない。オーバーストアかと言えはそうではなく、あっても無くてよいという店が多く、個性豊かな商品や生活に潤いを提供する店が少なくなってきた。その結果、ファッションやスタイルが蓄積されず、ブームとして消費されているだけであり、専門性に乏しい専門店を見ると、ますます商いが貧しくなっていくことを憂えている。

長年研究している米国オレゴン州ポートランドを織研ファッションビジネス懇話会メンバーと視察体験した。参加者が驚いたのは、多様なストリート文化である。トップファッションが集積したストリートから、カウ

ンターカルチャーファッションが際立つストリート、多くのテナイク品やリサイクル品が集積したストリートなど、それぞれがすみ分けされてにぎわいを見せていることであつた。今やポートランドのトレンド発信地となつたのが「パールデイストリクト」。1990年に都市計画によりこのエリアへのストリートカー(路面電車)導入が口火となり、アーバンネイバードといわれる職住商が重層された理想的な地区が誕生。今や全米有数の都市開発成功例となつた。貨物換車場や倉庫街が放棄された場所を、続々とロフト風の分譲マンションに改装、改修し、古さと新しさがブレンドされたデザインが新たな都市景観をつくる。街路の1階には時代の先端を行くレストランやカフェ、ライフスタイル系ショップやギャラリー、アートスクールが配置、人とモノと情報が発達するエリアになつた。誘導策で空き店舗活用



## 街路文化が安心安全なにぎわいと商いを創る

このエリアを再開発するにあたり、街路の空き店舗を若い起業家やアーティストに居住しながら新しいビジネスを展開してもらおうと、低家賃や起業支援などの誘導策をとり、エスニックレストランやファッション、雑貨ショップの誘致を進めた。その結果、通りにはアフリカ系の色彩豊かな壁画や南米、メキシコ系のショップやエスニックレストランなどが次々に並び、個性的な商住環境づくりが進行していった。そのアイデンティティづくりの芯になつたのが、既存の体制的な文化に対抗する若者文化が表現された、自由度のあるストリートデザインである。それら個性的な商品と空間をそのまま取り取って東京に持っていくはたかなくほどだ。最近ではパールデイストリクトに出店しているエッジの効いたカフェやレストランもこの地区に出店するようになった。毎月最終木曜日にはラストサステイ・アートウォークというブロック・パーティーが開催され、お祭りのようなにぎわいを見せる。「街が安全になつて、外で遊べるようになった」と黒人の子供の大きな写真が飾られるなど、官民による街路文化づくりが街のにぎわいをつくり、安心安全な街区へと変えていったのである。毎年の進展を見るにつけ、商業店舗は街の個性を決める大きな要因であり、個性ある街路の個性の集積には計り知れない吸引力があると感じる。

豊かな商いが育まれる筆者が最近のポートランド街路文化で注目しているストリートがある。それは「アース・ウィリアムズ・アベニュー」である。ポートランドは自転車に優しい街ナンバーワンになつたように、ここには多くの自転車愛好家が集い住まう。先端のサイクルショップやバイクカフェやブルワリーまたサイクリストのマンションまで揃うなど、新たな自転車文化交流の場になつていく。店に人が集り、それに便乗するかのようになつたに店が増え、街は活性化されていく。その立地になじむとほ、そこに集う人々に支持され共感を得るというところであり、街路にあつた業種、業態の組み合わせにより、それぞれの魅力が増幅され街路の世界観が創出されていく。これは大きなショッピングセンターであつても出来ないことである。私たちが商業の近代化と共に失つたものとして、土地の歴史や文化、ライフスタイルや生活習慣を尊重し、時間や空間を楽しむといった街路文化の大切さである。今や再認識すべきであると提言したい。そこにはきっと貧しいことのない豊かな商いが育まれるはずである。



まつもと だいち S.C.マーケティング、プランニングから業態開発、プロデュース業務を推進。専門誌や業界紙での連載やFM番組のパーソナリティーの他、大学でのマーケティング講義やIIBJビジネススクールでは次世代商業施設戦略講座を担当する。6月に『最高の商いをデザインする方法』(エクスナレッジ社)出版。

で、胸が勝手に一またけ開いたと になりにまゐる

街路・街路デザイン